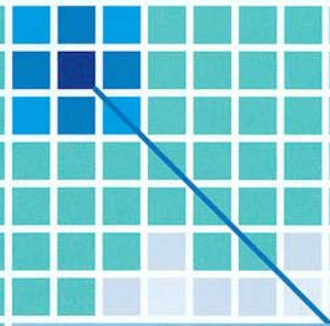


北見工業大学

地域共同研究センター

概 要



CRC
KIT

Cooperative Research Center
Kitami Institute of Technology

センターの使い方

共同研究、受託研究の相手を見つけたい

本学の研究者をよくご存知ない場合はセンターが紹介します。

技術的な相談をしたい

お困りの案件がございましたら、まずご相談ください。無料で対応いたします。

勉強会・研究会を開いて欲しい

必要に応じて講師の派遣、会の開催を支援します。センター会議室の利用も可能です。

研究者を派遣して欲しい

現場を見ながらのご相談や指導を希望される場合、本学の研究者を派遣することも可能です。

セミナー、講演会に参加したい

センター主催の行事は基本的には無料です。開催通知は新聞等でも行いますが、センターホームページから「センター情報・メールでゲット」システムに登録いただきますと、その都度電子メールにて直接お知らせします。

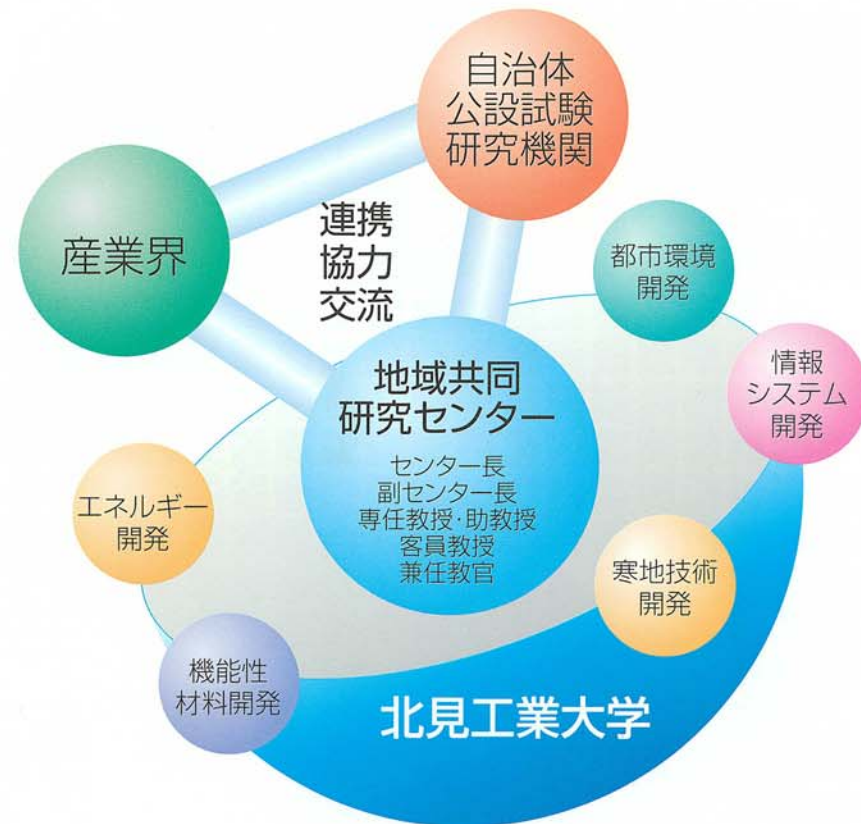
地域外から利用したい

もちろん可能です。当センターが認識している地域とはオホーツク圏（北海道網走支庁）および北海道全域ですが、本学の技術・シーズを必要とするすべての民間機関等（日本全国および世界）を相手先と考えています。

お願い

お気軽にご来所、ご相談いただきたいと思います。なにぶんにも専任が二人しかいないため突然のご来所には対応できない場合もございます。是非ともメール、電話等であらかじめご連絡いただければ幸いです。

運営組織・研究分野



共同研究をより効率的に推進するために、当センターでは大学の学科組織にとらわれず、学科横断的に教官グループを形成し、5つの研究分野(都市環境開発、エネルギー開発、機能性材料開発、情報システム開発、寒地技術開発)を重点的に扱っています。また、これらの研究分野だけにとらわれることなく、新しい分野の研究開発も積極的に推進します。

共同研究

共同研究の相手先

本学のシーズ、研究成果を必要とする日本全国、世界の民間機関等が対象です。

共同研究の受け入れ

民間機関等が研究費を負担し(大学が一部負担する場合があります)、大学と民間機関等の研究者や技術者が協力して(大学に人を派遣してもしなくても構いません)、研究を行うものです。契約は複数年にわたって可能です(支払いは年度ごとに必要です)。

経費について

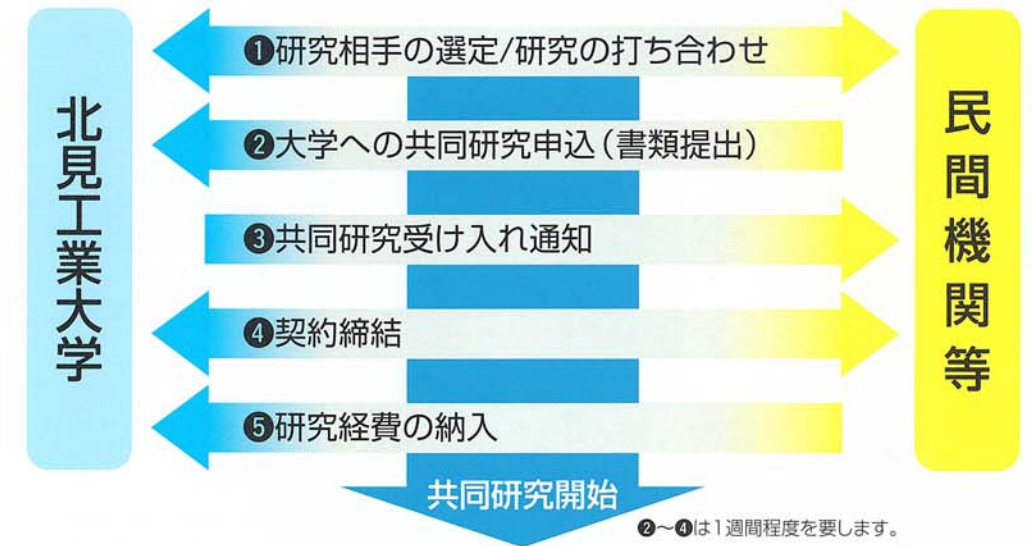
●直接経費

旅費、研究に必要な備品・消耗品費等および、大学側研究補助者の人件費の総額です。これについては大学側研究代表者、民間機関等の双方で協議の上、決定されます。

●派遣者に対する経費:

民間機関等から研究者や技術者(以下、共同研究員と呼ぶ)を派遣した場合には、年間一人当たり42万円が必要です(開始時期に関わらず固定額です)。

共同研究開始まで



その他の制度

受託研究制度

民間機関等が研究費を支払い、大学側のみで研究が行われて、大学側から成果を報告するものです。

★負担:管理費として研究に必要な経費の30%増して納める必要があります。

受託研究員制度

民間機関等の技術者・研究者に対して大学院レベルの研究指導を行います。所定の費用がかかります。

奨学寄付制度

大学の研究・教育の助成を目的として民間機関等からの寄付金を受け入れます。(税法上、非課税となります)

●共同発明の場合は共同出願とし、その特許は共有となります。

●特許権は民間機関等またはその指定するものが、一定期間(10年以内)優先的に実施することができます。この期間は必要に応じて変更できます。

特許権の取扱い

センター施設紹介

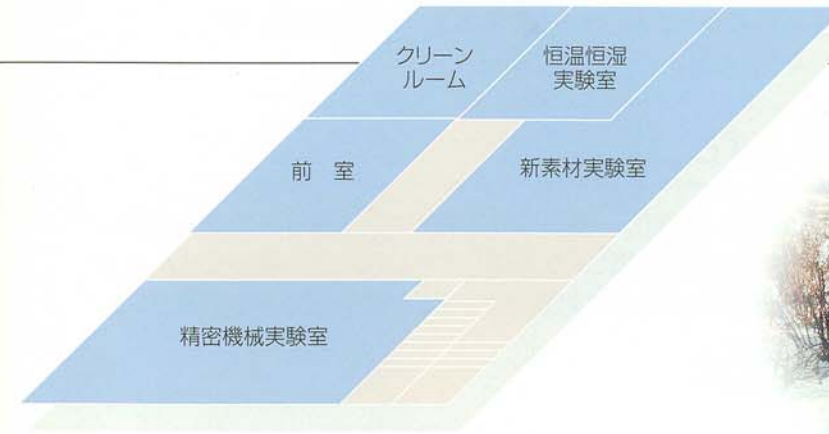
平成6年10月31日竣工 平成12年10月31日増築 延べ床面積2,003㎡

多孔性固体試料評価システム

セラミックス材料、炭素材料等の多孔性固体試料の機能性評価(比表面積、細孔分布吸脱着成分の分析、熱量解析)ができるシステムです。(新素材実験室)

主な応用例

- 固体触媒、セラミックス粉体、活性炭の比表面積、細孔分布の測定
- 固体表面上の貴金属触媒の分散度の測定
- セラミックスの多孔性の評価
- 固体触媒、セラミックス、活性炭のガス吸着熱、脱着熱、吸着量の測定
- 固体触媒、セラミックスのガス吸着・脱着量、酸・塩基性質、活性点の評価

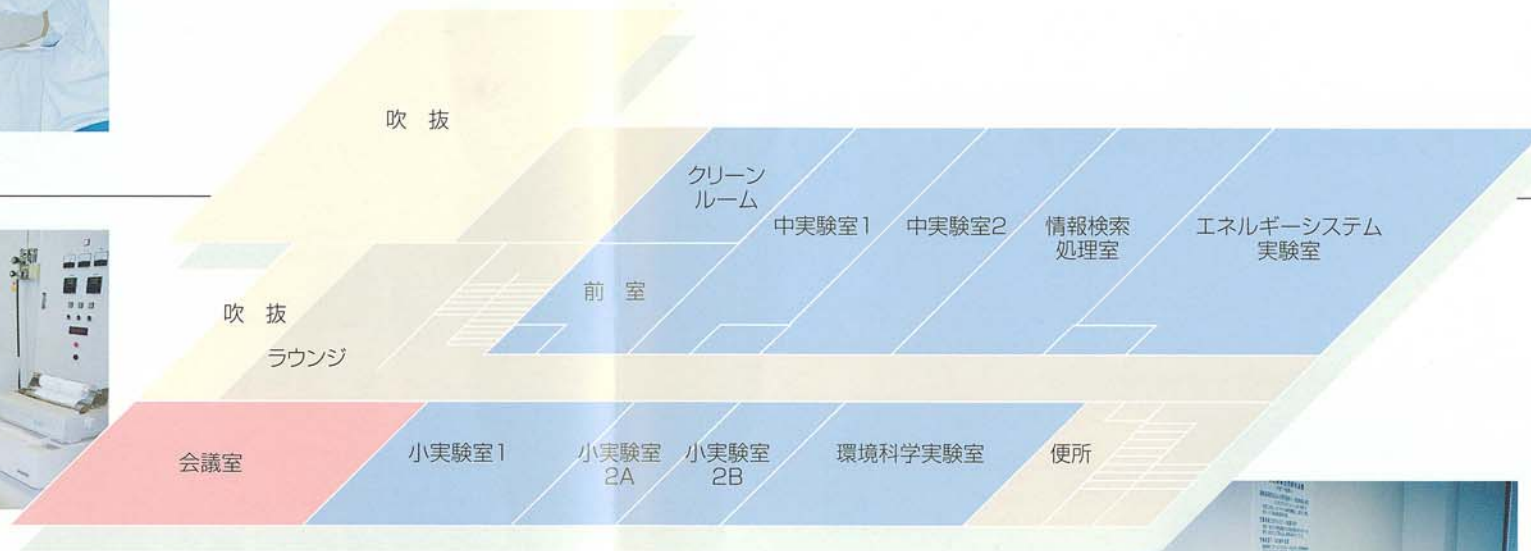


プラズマ質量分析装置

pptレベルで50種類にも及び各種元素を迅速に定性・定量分析可能です。水溶液中の元素だけではなく有機溶媒中の分析目的元素も直接測定が可能です。(2F・クリーンルーム)

主な応用例

- 環境水及び飲料水中の微量元素分析
- 各種有機/無機材料の分析
- 食品/生物試料の分析
- クロマトグラフ装置を用いる化学種別分析
- レーザー/電熱加熱装置を用いる固体試料の直接分析



衛星画像受信解析装置

極軌道気象衛星NOAAと地球環境観測衛星OrbView2の信号をパラボラアンテナにより受信し、データ処理、解析を行うことができます。(小実験室2B)

主な応用例

- 土地被覆分類
- 洪水氾濫面積の推定
- 地域植生図の作成
- 積雪水量の推定
- 水質の監視
- 海水分布の観測
- 水温分布の観測

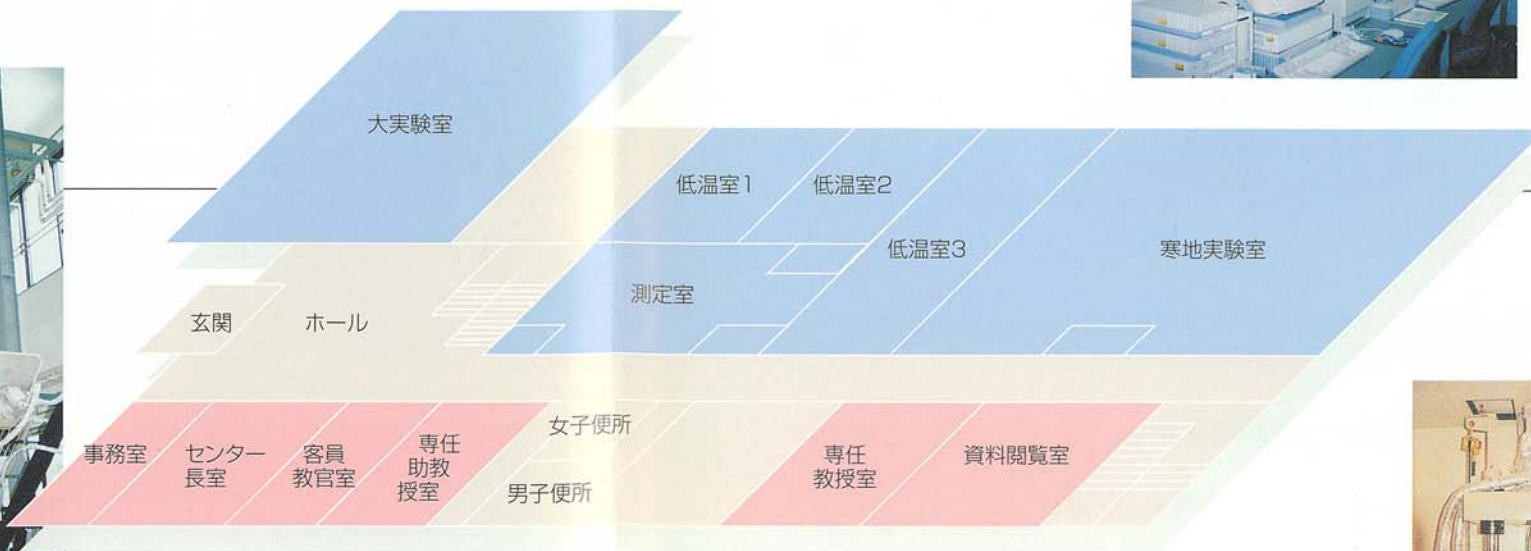


大型ソーラーシミュレータ

自然太陽光に近似した照射と赤道直下での日射に相当する照度が得られる装置です。ソーラコレクタ及び太陽電池などの太陽エネルギー利用に関する実用に近い規模の実験を屋内で行うことができます。(大実験室)

主な応用例

- 真空二重ガラス管式コレクタの評価試験
- 空気式コレクタの評価試験
- ソーラーボンドの蓄熱実験
- 太陽電池の評価試験
- 生ゴミ処理機の追加保温装置の開発



低温域材料・構造実験システム

積雪寒冷地の自然環境とその下で発生する各種構造物の技術的課題を研究するための総合試験システムです。(低温室1~3)





北見工業大学 地域共同研究センター

〒090-0013 北見市柏陽町603番2
 TEL (0157) 26-4161 FAX (0157) 26-4171
 E-mail center@crc.kitami-it.ac.jp
 ホームページ URL <http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>